

薬剤耐性（AMR）対策で 医療はどう変わるか

講師：大曲 貴夫 先生

主催 一般財団法人東京保健会 病体生理研究所

【講演要旨】

世界的に多剤耐性の菌の問題は顕在化している。2015年5月の世界保健機関総会では、薬剤耐性（AMR）に関するグローバル・アクション・プランが採択され、日本においても政府により2016年4月に薬剤耐性（AMR）アクションプランが策定された。

本アクションプランにより、地域連携の枠組みは院内のみならず地域を大きく巻き込む地域ネットワークによって支えられて行くようになる。感染対策に関するサーベイランスは地域もその範疇に入れてさらに充実が図られ、地域ネットワークで活用されるようになる。そして感染症の診療は更に質の向上が図られる。AMR対策で築かれて行く体制と対策は、病院だけではなく、様々な医療の場における感染防止対策を対象とし、かつ、単にAMRだけを対象とするだけでなく様々な疾患を対象とする形に仕上げて行くと。これは未来に向けて持続可能な医療環境の構築に必ず大きく貢献するはずである。

【日時】2019年3月2日（土） 午後3時～5時

【会場】連合会館 4F「402」会議室 【参加費】無料

【講師】大曲 貴夫 先生〔国立国際医療研究センター病院 副院長〕

【定員】70名（先着順で締め切ります。あらかじめ御了解ください）

申し込み方法

- 1、下記申込書にもれなく記入の上、FAX・郵送で申込。（不備がある場合、受講票を送付できません）
- 2、申込者あて受講票をFAXで送付します。当日、必ずお持ち下さい。
- 3、定員到達後の申込者へは「締切済」通知をFAXで送付します。あらかじめ御了解ください。

2019年3月2日（土）「第144回 医療技術者研修会（大曲貴夫先生）」受講申込書

勤務先の名称	職 種	氏名（フリガナ付）
勤務先の住所 〒（ ）		
FAX番号 （ ）		

申込先 〒173-0032 東京都板橋区大谷口上町 26-2（財）東京保健会病体生理研究所 医療技術者研修係

問い合わせ用TEL 03(3956) 4120

申し込み用FAX 03(3956) 4102

講 師

おおまがり

のりお

大曲 貴夫 先生

国立国際医療研究センター病院 副院長

【略 歴】

佐賀医大医学部卒業後、聖路加国際病院内科レジデント、2002年 The University of Texas-Houston Medical School 感染症科 Clinical fellow。2004年静岡県立静岡がんセンター 感染症科医長、07年同部長、11年国立国際医療研究センター国際疾病センター副センター長、12年同院国際感染症センター長、15年国際診療部長を経て、17年4月より国立国際医療研究センター病院副院長およびAMR臨床リファレンスセンター長。

【関連文献等】厚生労働省「抗微生物薬適正使用の手引き」

【所属学会等】日本感染症学会 日本環境感染学会 日本臨床微生物学会 日本渡航医学会

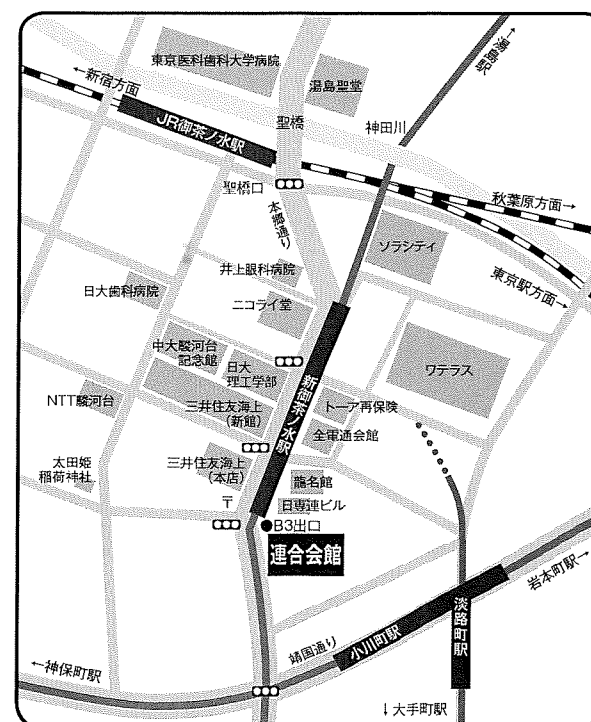
会場案内 連 合 会 館 4F・402 会議室

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 3-2-11 【電話】03(3253) 1771（代表）

交通機関

JR 総武線・中央線「御茶ノ水駅」徒歩5分
都営地下鉄新宿線「小川町駅」徒歩2分
地下鉄東京メトロ千代田線「新御茶ノ水駅」徒歩1分
地下鉄東京メトロ丸の内線「淡路町駅」徒歩4分

会場地図



注記：本財団は個人情報保護法を遵守し、申込書に記載頂いた情報は、本研修会に係る受付・運営のみに利用いたします。申込の内容に関する照会・修正等につきましては左記「医療技術者研修企画係」へ御連絡をお願い致します。